

(平成23年3月23日)

課室名

新しい学校づくり推進室

件名	平成22年度高校改革アンケート調査結果の概要について
経緯	<p>1 調査の目的 県下の中学生、高校生、保護者及び中学校・高等学校教員の高校改革等に対する考えや意見を把握し、今後の高校改革推進のための資料を得ることを目的とする。</p> <p>2 調査対象者 5,540人(回収数5,426人 回収率97.9%) (1) 中学3年生(対象1,078人 回収1,071人) 地域の偏りなく抽出した中学校(34校)の1学級の生徒全員 (2) 高校1年生(対象1,228人 回収1,221人) 県立高校(全日制29校及び定時制8校)及び甲府商業高校の1学級の生徒全員 (3) 保護者(対象2,304人 回収2,206人) (1)～(2)の生徒の保護者 (4) 教員(対象930人 回収928人) (1)の中学の全学年クラス担任及び(2)の高校の全学年クラス担任</p> <p>3 調査方法 各学校を通じて実施</p> <p>4 調査時期 平成23年1月実施</p>
内容	<p>1 調査項目</p> <p>(問1) 高校選択の理由 (問2) 在籍する高校の満足度 (問3) 普通科に期待すること (問4) 専門学科に期待すること (問5) 総合学科に期待すること (問6) 定時制に期待すること (問7) 中高一貫教育校の設置 (問8) 中高一貫教育校への進学 (問9) 中高一貫教育校に期待すること (問10) 希望(在籍)高校の設置地域 (問11) 高校への通学時間 (問12) 高校の再編整備 (問13) キャリア教育の推進に求められること (問14) 全県一学区制度 (問15) 前期募集制度 (問16) 前期募集の募集率 (問17) 前期募集への出願1 (問18) 前期募集への出願2 (問19) 前期募集への出願3</p> <p>調査内容の結果については、別添「平成22年度高校改革アンケート調査結果の概要」のとおり。</p>

平成 22 年度

高校改革アンケート  
調査結果概要

山梨県教育庁新しい学校づくり推進室

# 平成22年度高校改革アンケート調査の結果報告

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

県下の中学生、高校生、保護者及び中学校・高等学校教員の高校改革等に対する考えや意見を把握し、今後の高校改革推進のための資料を得ることを目的とする。

### 2 調査内容と項目数

- (問1) 高校選択の理由
- (問2) 在籍する高校の満足度
- (問3) 普通科に期待すること
- (問4) 専門学科に期待すること
- (問5) 総合学科に期待すること
- (問6) 定時制に期待すること
- (問7) 中高一貫教育校の設置
- (問8) 中高一貫教育校への進学
- (問9) 中高一貫教育校に期待すること
- (問10) 希望(在籍)高校の設置地域
- (問11) 高校への通学時間
- (問12) 高校の再編整備
- (問13) キャリア教育の推進に求められること
- (問14) 全県一学区制度
- (問15) 前期募集制度
- (問16) 前期募集の募集率
- (問17) 前期募集への出願 1
- (問18) 前期募集への出願 2
- (問19) 前期募集への出願 3

### 3 調査対象

- (1) 中学3年生 地域の偏りなく抽出した中学校(34校)の1学級全員
- (2) 高校1年生 県立高校(全日制28校及び定時制8校)及び甲府商業高校の1学級全員
- (3) 保護者 (1)～(2)の生徒の保護者
- (4) 教員 (1)の中学の全学年クラス担任及び(2)の高校の全学年クラス担任

### 4 調査方法

各学校を通じて調査票を配付のうえ実施

### 5 調査時期

平成23年1月実施

## 6 回収結果

調査対象者	配付数(人)	回収数(人)	回収率
中3生徒	1,078	1,071	99.4%
中3保護者	1,076	1,019	94.7%
中学校教員	317	315	99.4%
高1生徒	1,228	1,221	99.4%
高1保護者	1,228	1,187	96.7%
高校教員	613	613	100.0%
合計	5,540	5,426	97.9%

参考 (1) 比率(%)は、各項目ごとに小数点第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合もある。

(2) 各設問において、全体の傾向を示し、必要に応じて次のとおり分析を行った。

- 調査対象者別…その設問に回答した調査対象者ごとに分析
- 地域別…中3生徒、中3保護者、高1生徒、高1保護者の居住地域ごとに分析
- 学科別…高1生徒が在籍する高校の学科ごとにその保護者とともに分析
- 経年…昨年度以前の本調査との比較

## II 調査結果

問1 中学生、高校生の皆さんとその保護者の方にお聞きします。

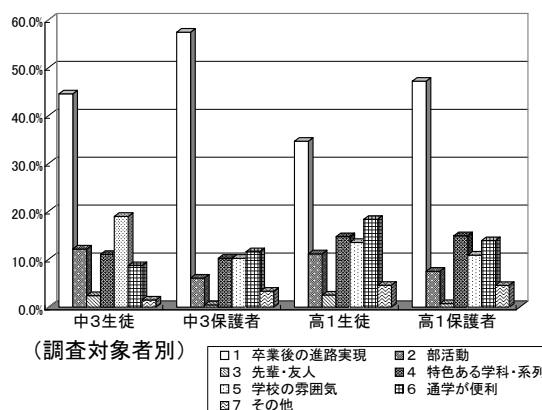
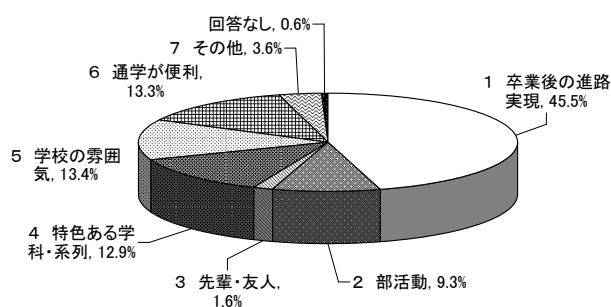
高校を選ぶとき、何に重きを置きますか。(置きましたか。)

(つぎの中から1つ選んでください。)

- |              |          |         |
|--------------|----------|---------|
| 1 卒業後の進路実現   | 2 部活動    | 3 先輩・友人 |
| 4 特色ある学科・系列等 | 5 学校の雰囲気 | 6 通学が便利 |
| 7 その他        |          |         |

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		高1生徒		高1保護者		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 卒業後の進路実現	477	44.5%	585	57.4%	423	34.6%	560	47.2%	2,045	45.5%
2 部活動	130	12.1%	62	6.1%	136	11.1%	89	7.5%	417	9.3%
3 先輩・友人	26	2.4%	5	0.5%	31	2.5%	9	0.8%	71	1.6%
4 特色ある学科・系列	118	11.0%	104	10.2%	180	14.7%	177	14.9%	579	12.9%
5 学校の雰囲気	203	19.0%	104	10.2%	165	13.5%	129	10.9%	601	13.4%
6 通学が便利	93	8.7%	118	11.6%	224	18.3%	165	13.9%	600	13.3%
7 その他	16	1.5%	34	3.3%	56	4.6%	54	4.5%	160	3.6%
回答なし	8	0.7%	7	0.7%	6	0.5%	4	0.3%	25	0.6%
計	1,071		1,019		1,221		1,187		4,498	

高校選択の理由(全体)



中3・高1生徒とその保護者に、高校を選択する際、何に重きを置くか尋ねた。

○ 全体の傾向

・「進路実現」と回答した比率が最も高く45.5%であり、以下「学校の雰囲気」13.4%、「通学が便利」13.3%、「特色ある学科・系列」12.9%の順で、例年と同様の傾向である。

○ 調査対象者別

・全ての調査対象者で「進路実現」と回答した比率が最も高く、生徒よりも保護者の方が高校選択時に、就職や進学を重要視している傾向があり、特に中3保護者は57.4%と高くなっている。

・高1生徒及びその保護者は、「通学が便利」と回答した比率が、中3生徒及びその保護者よりも高くなっている。

○ 学科別

・単位制普通科の高1生徒及びその保護者において、「進路実現」と回答した比率がそれぞれ49.6%、58.6%で他の学科より高くなっている。

・総合学科の高1生徒及びその保護者において、「特色ある学科・系列」と回答した比率がそれぞれ43.2%、40.4%で他の学科より高くなっている。

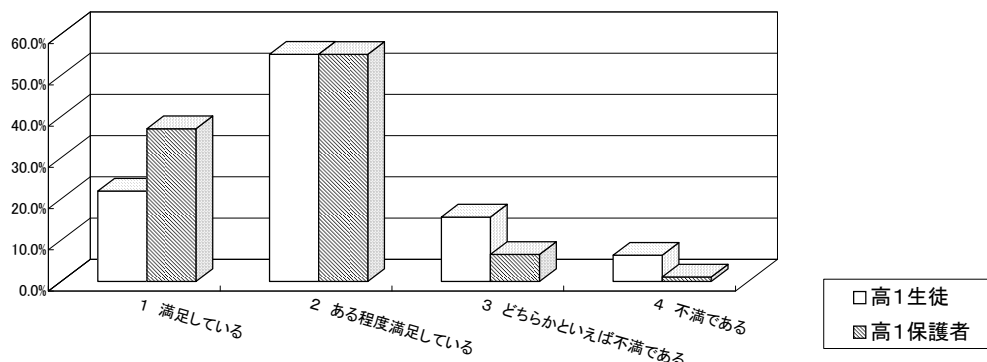
		普通科	単位制普通科	専門教育学科	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制	計
高1生徒	1 進路実現	32.2%	49.6%	36.2%	35.1%	26.4%	52.1%	33.7%	14.4%	34.6%
	4 特色ある学科・系列	5.2%	4.3%	21.7%	43.2%	41.7%	25.2%	14.7%	10.3%	14.7%
	5 学校の雰囲気	17.0%	13.7%	13.0%	8.1%	8.3%	4.2%	7.4%	21.6%	13.5%
高1保護者	6 通学が便利	25.3%	12.8%	18.8%	5.4%	13.9%	6.7%	13.7%	22.7%	18.3%
	1 進路実現	47.9%	58.6%	50.7%	34.9%	49.3%	48.7%	48.9%	32.9%	47.2%
	4 特色ある学科・系列	6.4%	6.9%	24.6%	40.4%	29.3%	28.3%	12.8%	10.1%	14.9%
	5 学校の雰囲気	13.3%	13.8%	10.1%	4.6%	4.0%	2.7%	5.3%	24.1%	10.9%
	6 通学が便利	19.0%	9.5%	8.7%	11.9%	9.3%	3.5%	6.4%	21.5%	13.9%

問2 高校生の皆さんとその保護者の方にお聞きします。  
在籍している高校について、どの程度満足していますか？  
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 満足している
- 2 ある程度満足している
- 3 どちらかといえば不満である
- 4 不満である

選 択 肢	高1生徒		高1保護者		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 満足している	268	21.9%	440	37.1%	708	29.4%
2 ある程度満足している	673	55.1%	654	55.1%	1,327	55.1%
3 どちらかといえば不満である	191	15.6%	78	6.6%	269	11.2%
4 不満である	78	6.4%	13	1.1%	91	3.8%
回答なし	11	0.9%	2	0.2%	13	0.5%
計	1,221		1,187		2,408	

高校の満足度



高1生徒とその保護者に、在学している高校に対する満足度を尋ねた。

- 全体の傾向  
・「満足している」「ある程度満足している」と回答した比率は84.5%、「どちらかといえば不満である」、「不満である」は15.0%である。
- 調査対象者別  
・「満足している」「ある程度満足している」と回答した比率は高1生徒77.1%、高1保護者92.2%、「不満である」「どちらかといえば不満である」と回答した比率は高1生徒22.0%、高1保護者7.7%であり、生徒より保護者の方が満足度が高くなっている。

○ 学科別

「満足している」「ある程度満足している」と回答した比率を学科別に表すと、次のとおりである。

	普通科	単位制普通科	専門教育学科	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制	計
高1生徒	76.5%	79.5%	87.0%	85.6%	68.1%	69.7%	73.7%	79.4%	77.1%
高1保護者	91.7%	94.0%	97.1%	93.6%	84.0%	91.2%	93.6%	93.7%	92.2%

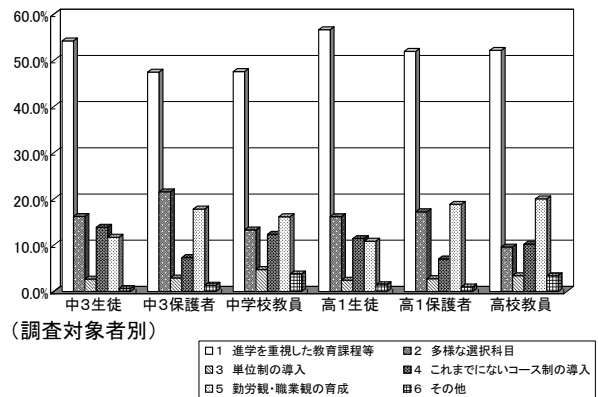
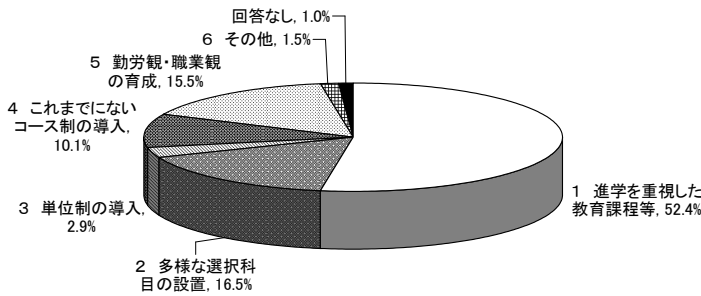
・全ての学科で、「満足している」「ある程度満足している」と回答した比率は、生徒より保護者の方が高くなっている。

問3 普通科の魅力づくりのために何が重要だと思いますか？  
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 大学、短大などへの進学を重視した教育課程や進路指導
- 2 普通科の科目以外の多様な選択科目の設置
- 3 単位制の導入
- 4 芸術系、スポーツ系などこれまでにないコース制の導入
- 5 社会人・職業人として必要な勤労観・職業観の育成
- 6 その他( )

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		中学校教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 進学を重視した教育課程等	581	54.2%	484	47.5%	150	47.6%	692	56.7%	617	52.0%	320	52.2%	2,844	52.4%
2 多様な選択科目の設置	174	16.2%	220	21.6%	42	13.3%	198	16.2%	205	17.3%	59	9.6%	898	16.5%
3 単位制の導入	29	2.7%	30	2.9%	15	4.8%	30	2.5%	33	2.8%	21	3.4%	158	2.9%
4 これまでにないコース制の導入	149	13.9%	75	7.4%	39	12.4%	140	11.5%	84	7.1%	63	10.3%	550	10.1%
5 勤労観・職業観の育成	126	11.8%	182	17.9%	51	16.2%	133	10.9%	224	18.9%	123	20.1%	839	15.5%
6 その他	7	0.7%	14	1.4%	12	3.8%	18	1.5%	12	1.0%	21	3.4%	84	1.5%
回答なし	5	0.5%	14	1.4%	6	1.9%	10	0.8%	12	1.0%	6	1.0%	53	1.0%
計	1,071		1,019		315		1,221		1,187		613		5,426	

普通科の魅力づくり(全体)



普通科の魅力づくりのために必要なことを尋ねた。

○ 全体の傾向

・「進学を重視した教育課程等」との回答が最も多く52.4%であり、以下「多様な選択科目の設置」16.5%、「勤労観・職業観の育成」15.5%の順である。

○ 学科別(普通科系)

・「進学を重視した教育課程等」、「多様な選択科目の設置」、「勤労観・職業観の育成」について、普通科、単位制普通科、専門教育学科の高1生徒及びその保護者の回答状況は次のとおり。

		H21年度			H22年度		
		普通科	単位制普通科	専門教育学科	普通科	単位制普通科	専門教育学科
高1生徒	1 進学を重視した教育課程等	53.2%	68.4%	68.0%	60.1%	65.0%	68.1%
	2 多様な選択科目	21.9%	21.1%	14.3%	15.3%	17.1%	13.0%
	5 勤労観・職業観の育成	8.4%	3.5%	5.7%	9.1%	11.1%	5.8%
高1保護者	1 進学を重視した教育課程等	56.9%	63.9%	67.2%	62.8%	68.1%	66.7%
	2 多様な選択科目	20.4%	18.5%	13.1%	14.3%	8.6%	15.9%
	5 勤労観・職業観の育成	11.0%	6.5%	8.2%	13.2%	11.2%	5.8%

・単位制普通科、専門教育学科で「進学を重視した教育課程等」と回答した比率が全体より高く、この傾向は昨年度と同様となっている。

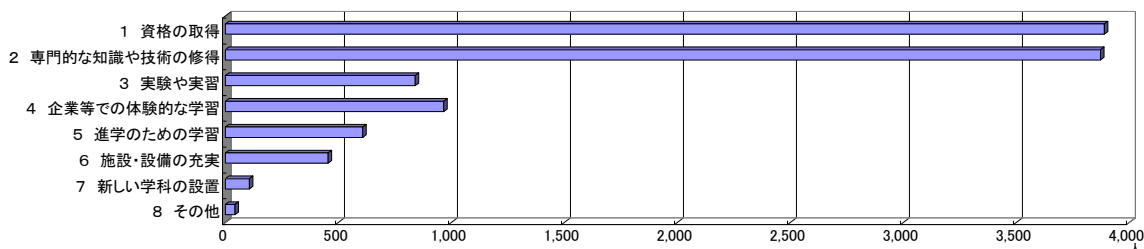
問4 専門学科(農業科、工業科、商業科)に何を期待しますか？  
(つぎの中から2つ選んでください。)

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1 資格の取得    | 2 専門的な知識や技術の修得 |
| 3 実験や実習    | 4 企業等での体験的な学習  |
| 5 進学のための学習 | 6 施設・設備の充実     |
| 7 新しい学科の設置 | 8 その他( )       |

※複数回答あり

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		中学校教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 資格の取得	742	69.3%	774	76.0%	202	64.1%	902	73.9%	897	75.6%	373	60.8%	3,890	71.7%
2 専門的な知識や技術の修得	693	64.7%	758	74.4%	245	77.8%	814	66.7%	904	76.2%	459	74.9%	3,873	71.4%
3 実験や実習	206	19.2%	95	9.3%	41	13.0%	258	21.1%	134	11.3%	107	17.5%	841	15.5%
4 企業等での体験的な学習	172	16.1%	205	20.1%	84	26.7%	131	10.7%	216	18.2%	159	25.9%	967	17.8%
5 進学のための学習	170	15.9%	103	10.1%	20	6.3%	165	13.5%	115	9.7%	35	5.7%	608	11.2%
6 施設・設備の充実	118	11.0%	55	5.4%	34	10.8%	121	9.9%	65	5.5%	62	10.1%	455	8.4%
7 新しい学科の設置	36	3.4%	19	1.9%	1	0.3%	22	1.8%	17	1.4%	11	1.8%	106	2.0%
8 その他	3	0.3%	7	0.7%	3	1.0%	9	0.7%	7	0.6%	14	2.3%	43	0.8%
回答なし	1	0.1%	8	0.8%		0.0%	10	0.8%	8	0.7%	2	0.3%	29	0.5%
計	1,071		1,019		315		1,221		1,187		613		5,426	

専門学科に期待すること



農業科、工業科、商業科などの専門学科に期待することを尋ねた。

○ 全体の傾向

・「資格の取得」、「専門的知識や技術の修得」と回答した比率がそれぞれ71.7%、71.4%で特に高く、以下「企業等での体験的な学習」17.8%、「実験や実習」15.5%の順である。

○ 調査対象者別

・「資格の取得」と回答した比率は、中3生徒69.3%、中3保護者76.0%、高1生徒73.9%、高1保護者75.6%で、生徒より保護者の方が高くなっている。

・「進学のための学習」と回答した比率は、中学校、高校教員がそれぞれ6.3%、5.7%で、生徒、保護者と比べ低くなっている。

○ 学科別(専門学科)

・「資格の取得」、「専門的知識や技術の修得」、「実験や実習」、「企業等での体験的な学習」について、農業科、工業科、商業科の高1生徒及びその保護者の回答状況は次のとおり。

		H21年度			H22年度		
		農業科	工業科	商業科	農業科	工業科	商業科
高1生徒	1 資格の取得	70.7%	76.3%	84.5%	65.3%	77.3%	89.5%
	2 専門的な知識や技術の修得	53.4%	63.6%	55.2%	68.1%	67.2%	61.1%
	3 実験や実習	29.3%	23.7%	19.0%	31.9%	20.2%	9.5%
	4 企業等での体験的な学習	10.3%	11.9%	5.2%	6.9%	7.6%	18.9%
高1保護者	1 資格の取得	73.7%	74.1%	82.1%	66.7%	77.0%	80.9%
	2 専門的な知識や技術の修得	70.2%	78.4%	71.4%	74.7%	77.9%	79.8%
	3 実験や実習	12.3%	6.9%	3.6%	22.7%	13.3%	8.5%
	4 企業等での体験的な学習	24.6%	19.8%	19.6%	16.0%	17.7%	17.0%

・商業科の高1生徒及びその保護者が「資格の取得」と回答した比率が全体より高いのは、昨年度と同様の傾向となっている。

・農業科の高1生徒及びその保護者で、回答した比率の順位が昨年度と変わっているものがある。



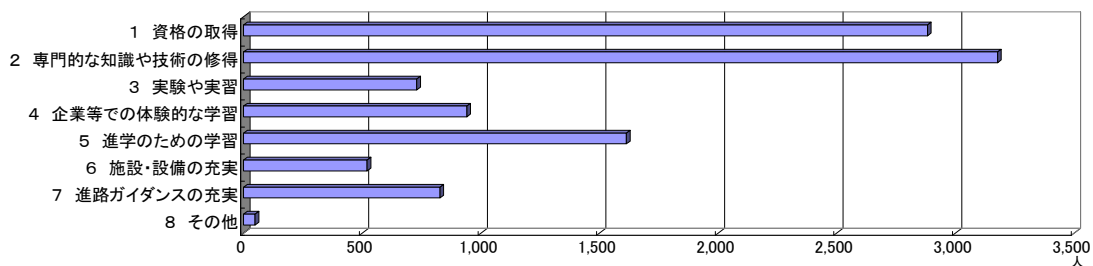
問5 総合学科に何を期待しますか？  
(つぎの中から2つ選んでください。)

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1 資格の取得      | 2 専門的な知識や技術の修得 |
| 3 実験や実習      | 4 企業等での体験的な学習  |
| 5 進学のための学習   | 6 施設・設備の充実     |
| 7 進路ガイダンスの充実 | 8 その他( )       |

※複数回答あり

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		中学校教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 資格の取得	604	56.4%	544	53.4%	141	44.8%	677	55.4%	660	55.6%	257	41.9%	2,883	53.1%
2 専門的な知識や技術の修得	591	55.2%	655	64.3%	214	67.9%	642	52.6%	739	62.3%	337	55.0%	3,178	58.6%
3 実験や実習	176	16.4%	100	9.8%	32	10.2%	205	16.8%	125	10.5%	92	15.0%	730	13.5%
4 企業等での体験的な学習	161	15.0%	175	17.2%	77	24.4%	171	14.0%	186	15.7%	171	27.9%	941	17.3%
5 進学のための学習	380	35.5%	298	29.2%	68	21.6%	403	33.0%	327	27.5%	138	22.5%	1,614	29.7%
6 施設・設備の充実	130	12.1%	63	6.2%	36	11.4%	147	12.0%	60	5.1%	85	13.9%	521	9.6%
7 進路ガイダンスの充実	96	9.0%	169	16.6%	57	18.1%	160	13.1%	229	19.3%	117	19.1%	828	15.3%
8 その他		0.0%	6	0.6%	2	0.6%	12	1.0%	10	0.8%	19	3.1%	49	0.9%
回答なし	2	0.2%	11	1.1%	1	0.3%	10	0.8%	16	1.3%	3	0.5%	43	0.8%
計	1,071		1,019		315		1,221		1,187		613		5,426	

総合学科に期待すること



総合学科に期待することを尋ねた。

○ 全体の傾向

・「専門的な知識や技術の修得」、「資格の取得」と回答した比率がそれぞれ58.6%、53.1%と高く、次いで「進学のための学習」29.7%となっている。

○ 調査対象者別

・中3、高1生徒は、「進学のための学習」と回答した比率がそれぞれ35.5%、33.0%で、他の調査対象者と比べ高くなっている。

○ 学科別(総合学科)

・総合学科に在籍する高1生徒とその保護者の回答状況を見ると、「資格の取得」と回答した比率がそれぞれ79.3%、68.8%で全体に比べ高くなっている。一方、「進学のための学習」はそれぞれ18.0%、11.9%で全体に比べ低くなっている。

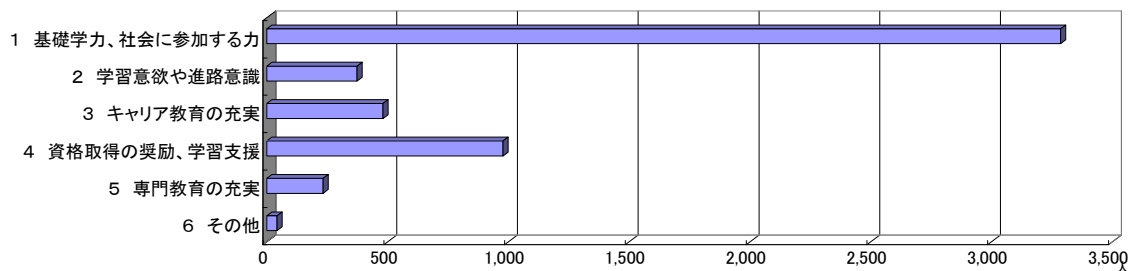
	総合学科	
	高1生徒	高1保護者
1 資格の取得	79.3%	68.8%
2 専門的な知識や技術の修得	58.6%	78.9%
3 実験や実習	12.6%	9.2%
4 企業等での体験的な学習	9.0%	15.6%
5 進学のための学習	18.0%	11.9%
6 施設・設備の充実	11.7%	1.8%
7 進路ガイダンスの充実	10.8%	12.8%

問6 定時制に何を期待しますか？  
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 基礎学力を高め、社会に積極的に参加する力をつける
- 2 外部人材の講話などにより、学習意欲や進路意識を高める
- 3 地域、関係機関と連携した職場体験などキャリア教育の充実
- 4 資格取得などの資格取得の奨励、学習支援
- 5 工業・商業などの専門教育の充実
- 6 その他

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		中学校教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 基礎学力、社会に参加する力	707	66.0%	564	55.3%	190	60.3%	791	64.8%	678	57.1%	356	58.1%	3,286	60.6%
2 学習意欲や進路意識	83	7.7%	56	5.5%	10	3.2%	101	8.3%	85	7.2%	38	6.2%	373	6.9%
3 キャリア教育の充実	85	7.9%	84	8.2%	39	12.4%	94	7.7%	98	8.3%	80	13.1%	480	8.8%
4 資格取得の奨励、学習支援	133	12.4%	263	25.8%	66	21.0%	137	11.2%	276	23.3%	103	16.8%	978	18.0%
5 専門教育の充実	57	5.3%	39	3.8%	7	2.2%	74	6.1%	35	2.9%	20	3.3%	232	4.3%
6 その他	3	0.3%	5	0.5%	2	0.6%	16	1.3%	4	0.3%	12	2.0%	42	0.8%
回答なし	3	0.3%	8	0.8%	1	0.3%	8	0.7%	11	0.9%	4	0.7%	35	0.6%
計	1,071		1,019		315		1,221		1,187		613		5,426	

定時制に期待すること



定時制に期待することを尋ねた。

○ 全体の傾向

・「基礎学力、社会に参加する力」と回答した比率が60.6%で特に高く、次いで「資格取得の奨励、学習支援」18.0%となっている。

○ 調査対象者別

・中3生徒、高1生徒をみると、「基礎学力、社会に参加する力」と回答した比率はそれぞれ66.0%、64.8%で、他の調査対象者と比べ高くなっているが、「資格取得の奨励、学習支援」はそれぞれ12.4%、11.2%で低くなっている。

○ 学科別(定時制)

・定時制の高1生徒とその保護者の回答状況をみると、「基礎学力、社会に参加する力」はそれぞれ49.5%、32.9%で全体と比べ低くなっている一方、保護者の「資格取得の奨励、学習支援」と回答した比率が38.0%で全体と比べ高くなっている。

	定時制	
	高1生徒	高1保護者
1 基礎学力、社会に参加する力	49.5%	32.9%
2 学習意欲や進路意識	7.2%	5.1%
3 キャリア教育の充実	14.4%	16.5%
4 資格取得の奨励、学習支援	13.4%	38.0%
5 専門教育の充実	8.2%	2.5%

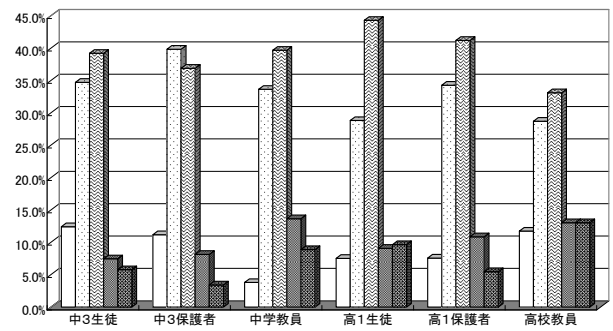
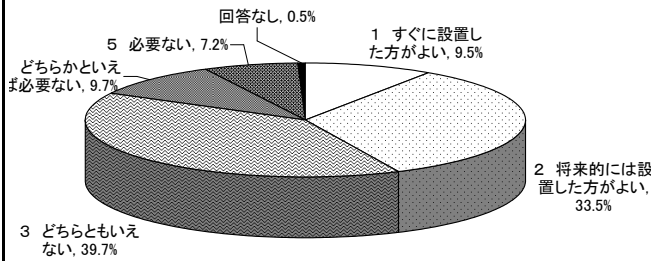
問7 中学から高校まで6年間の一貫した教育課程や学習環境のもとで学ぶ中高一貫教育校について、本県では県立校に設置されていませんが、どう思いますか？

(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい                      2 将来的には設置した方がよい                      3 どちらともいえない  
4 どちらかといえば必要ない                      5 必要ない

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		中学校教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	133	12.4%	114	11.2%	12	3.8%	92	7.5%	90	7.6%	72	11.7%	513	9.5%
2 将来的には設置した方がよい	372	34.7%	406	39.8%	106	33.7%	352	28.8%	407	34.3%	176	28.7%	1,819	33.5%
3 どちらともいえない	420	39.2%	376	36.9%	125	39.7%	541	44.3%	489	41.2%	203	33.1%	2,154	39.7%
4 どちらかといえば必要ない	80	7.5%	83	8.1%	43	13.7%	111	9.1%	129	10.9%	80	13.1%	526	9.7%
5 必要ない	62	5.8%	35	3.4%	28	8.9%	118	9.7%	65	5.5%	80	13.1%	388	7.2%
回答なし	4	0.4%	5	0.5%	1	0.3%	7	0.6%	7	0.6%	2	0.3%	26	0.5%
計	1,071		1,019		315		1,221		1,187		613		5,426	

中高一貫教育校の設置(全体)



(調査対象者別)

□1 すぐに設置した方がよい    □2 将来的には設置した方がよい  
 □3 どちらともいえない        □4 どちらかといえば必要ない  
 ■5 必要ない

中高一貫教育校の設置の必要性について尋ねた。

○ 全体の傾向

・「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は43.0%、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」16.8%、「どちらともいえない」39.7%である。

・経年状況は次のとおり。

	H17年度	H18年度	H19年度	H21年度	H22年度
1 すぐに設置した方がよい	41.5%	45.9%	44.2%	43.7%	43.0%
2 将来的には設置した方がよい					
3 どちらともいえない	35.8%	34.0%	34.9%	34.5%	39.7%
4 どちらかといえば必要ない	21.6%	18.7%	19.1%	21.6%	16.8%
5 必要ない					

○ 調査対象者別

・「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は、中3保護者で51.0%と過半数を占める一方、中学校及び高校の教員は「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した比率がそれぞれ22.5%、26.1%で全体より高くなっている。

問8 中学生、高校生の皆さんとその保護者の方にお聞きます。  
もし中学への進学の際に、通学可能な範囲に県立の中高一貫校が設置されていたと仮定して、中高一貫校への入学を検討したと思いますか？

(つぎの中から1つ選んでください。)

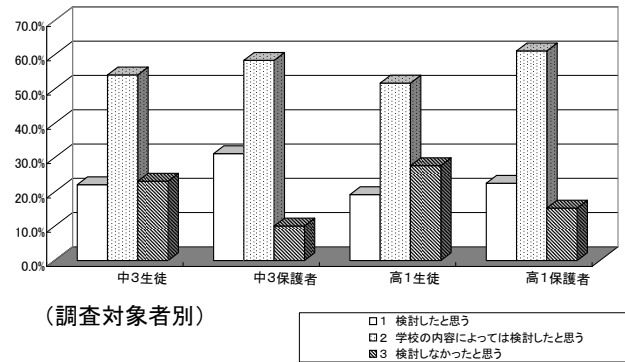
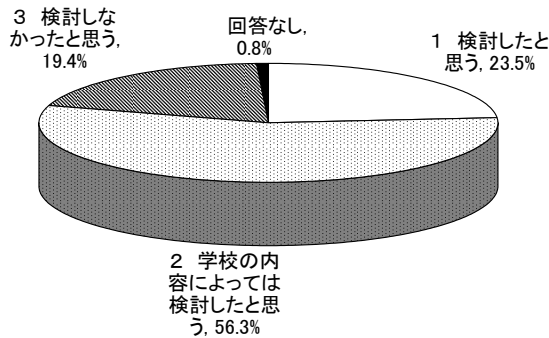
1 検討したと思う

2 学校の内容によっては検討したと思う

3 検討しなかったと思う

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		高1生徒		高1保護者		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 検討したと思う	237	22.1%	318	31.2%	235	19.2%	268	22.6%	1,058	23.5%
2 学校の内容によっては検討したと思う	580	54.2%	595	58.4%	632	51.8%	726	61.2%	2,533	56.3%
3 検討しなかったと思う	248	23.2%	103	10.1%	338	27.7%	182	15.3%	871	19.4%
回答なし	6	0.6%	3	0.3%	16	1.3%	11	0.9%	36	0.8%
計	1,071		1,019		1,221		1,187		4,498	

中高一貫教育校への進学(全体)



中高一貫教育校が設置されていた場合に進学を検討したか尋ねた。

○ 全体の傾向

・「学校の内容によっては検討したと思う」との回答が56.3%と最も高く、以下「検討したと思う」23.5%、「検討しなかったと思う」19.4%の順である。

○ 調査対象者別

・「検討したと思う」と回答した比率を生徒と保護者で比べると、中3(生徒22.1% 保護者31.2%)、高1(生徒19.2% 保護者22.6%)いずれも生徒より保護者の方が高くなっている。

問9 問8で「1 検討したと思う」又は「2 学校の内容によっては検討したと思う」と回答した方及び中学校・高校教員の方にお聞きします。

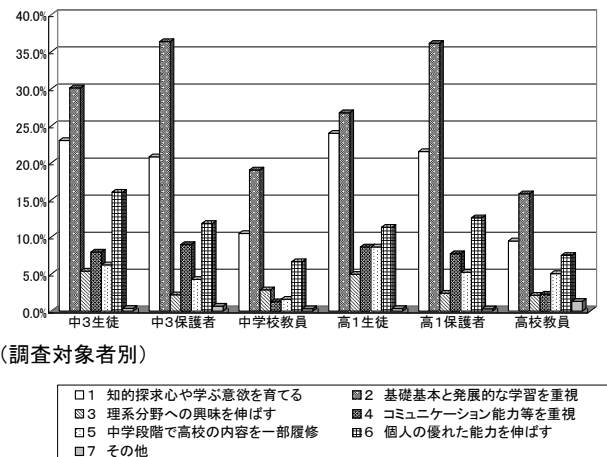
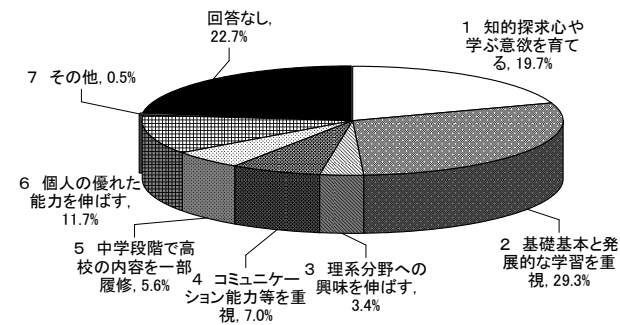
全国で設置されている公立の中高一貫校では、6年間の継続した時間を利用した様々な特色を打ち出していますが、次の中で、あなたが最も期待することはどれですか？

(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 体験活動等を多く取り入れ、知的探求心や学ぶ意欲を育てること
- 2 基礎基本を身につけるとともに、発展的な学習も重視すること
- 3 野外学習や実験などを多く取り入れ、理系分野への興味を伸ばすこと
- 4 コミュニケーション能力、実践的な英語力を重視すること
- 5 中学段階で高校の内容を一部履修すること
- 6 個人の優れた能力を伸ばすこと
- 7 その他

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		中学校教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 知的探求心や学ぶ意欲を育てる	188	23.0%	190	20.8%	33	10.5%	208	24.0%	214	21.5%	58	9.5%	891	19.7%
2 基礎基本と発展的な学習を重視	246	30.1%	332	36.4%	60	19.0%	232	26.8%	359	36.1%	97	15.8%	1,326	29.3%
3 理系分野への興味を伸ばす	44	5.4%	20	2.2%	9	2.9%	43	5.0%	24	2.4%	13	2.1%	153	3.4%
4 コミュニケーション能力等を重視	65	8.0%	82	9.0%	4	1.3%	75	8.7%	77	7.7%	14	2.3%	317	7.0%
5 中学段階で高校の内容を一部履修	51	6.2%	39	4.3%	5	1.6%	75	8.7%	52	5.2%	31	5.1%	253	5.6%
6 個人の優れた能力を伸ばす	131	16.0%	108	11.8%	21	6.7%	98	11.3%	125	12.6%	46	7.5%	529	11.7%
7 その他	3	0.4%	6	0.7%	1	0.3%	3	0.3%	3	0.3%	8	1.3%	24	0.5%
回答なし	89	10.9%	136	14.9%	182	57.8%	133	15.3%	140	14.1%	346	56.4%	1,026	22.7%
計	817		913		315		867		994		613		4,519	

中高一貫教育校に期待すること(全体)



中高一貫教育校に期待することについて尋ねた。

○ 全体の傾向

・「基礎基本と発展的な学習を重視」と回答した比率が最も高く29.3%、以下「知的探求心や学ぶ意欲を育てる」19.7%、「個人の優れた能力を伸ばす」11.7%の順である。

○ 調査対象者別

・各調査対象者の回答状況は、全体と比べ大きな差異はみられないが、中3保護者と高1保護者で「基礎基本と発展的な学習を重視」と回答した比率がそれぞれ36.4%、36.1%で全体より比率が高くなっている。

問10 中学生と高校生の皆さんにお聞きます。

- ・中学生の皆さん → 入学を希望する高校はどの地域にある高校ですか？
- ・高校生の皆さん → 在籍する高校はどの地域にある高校ですか？

- |          |               |           |
|----------|---------------|-----------|
| 1 峡北地域   | 2 甲府地域        | 3 南アルプス地域 |
| 4 峡南地域   | 5 峡東地域        | 6 東部地域    |
| 7 富士北麓地域 | 8 その他(私学、県外等) |           |

選 択 肢	中3生徒(希望高校地域)		高1生徒(在籍高校地域)	
	人数	比率	人数	比率
1 峡北地域	115	10.7%	169	13.8%
2 甲府地域	401	37.4%	366	30.0%
3 南アルプス地域	73	6.8%	92	7.5%
4 峡南地域	51	4.8%	126	10.3%
5 峡東地域	132	12.3%	187	15.3%
6 東部地域	116	10.8%	138	11.3%
7 富士北麓地域	123	11.5%	138	11.3%
8 その他(私学、県外等)	54	5.0%		0.0%
回答なし	6	0.6%	5	0.4%
計	1,071		1,221	

中3生徒及び高1生徒に希望する(在籍する)高校の設置地域について尋ねた。

○ 全体の傾向

- ・中3生徒と高1生徒の間に同地域における希望(在籍)比率に大きな差異はないが、甲府地域(中3生徒37.4%・高1生徒30.0%)、峡南地域(中3生徒4.8%・高1生徒10.3%)は他地域に比べ差が大きい。
- ・中3生徒は73.1%が居住地域内の高校を希望しており、高1生徒は75.2%が居住地域内の高校に在籍している。
- ・希望(在籍)する高校の地域と居住地域との関係は次のとおり。

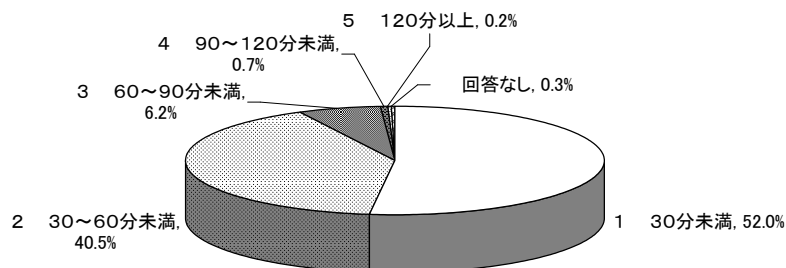
	H21年度		H22年度	
	地域内	地域外	地域内	地域外
中3生徒	70.9%	29.1%	73.1%	26.9%
高1生徒	73.7%	26.3%	75.2%	24.8%

問11 高校生の皆さん方にお聞きします。現在の通学時間は片道どのくらいですか？

- 1 30分未満
- 2 30～60分未満
- 3 60～90分未満
- 4 90～120分未満
- 5 120分以上

選 択 肢	高1生徒	
	人数	比率
1 30分未満	635	52.0%
2 30～60分未満	495	40.5%
3 60～90分未満	76	6.2%
4 90～120分未満	8	0.7%
5 120分以上	3	0.2%
回答なし	4	0.3%
計	1,221	

高校までの通学時間



高1生徒に、高校までの通学時間を尋ねた。

○ 全体の傾向

・通学時間が60分までの生徒が92.5%で、ほとんどの生徒が1時間以内の通学時間となっている。

○ 地域別

60分以上と回答した比率を居住地域別に表すと、次のとおりである。

峡北	甲府	南アルプス	峡南	峡東	東部	富士北麓	計
10.0%	3.8%	9.4%	18.4%	5.5%	10.4%	2.0%	7.1%

・比率が最も高い地域は峡南地域18.4%、最も低い地域は富士北麓地域2.0%となっている。

○ 学科別

60分以上と回答した比率を学科別に表すと、次のとおりである。

普通科	単位制普通科	専門教育学科	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制	計
5.2%	6.0%	10.1%	9.9%	6.9%	12.6%	9.5%	5.2%	7.1%

・工業科が最も高く12.6%となっているが、各学科と全体との間に大きな差異はない。

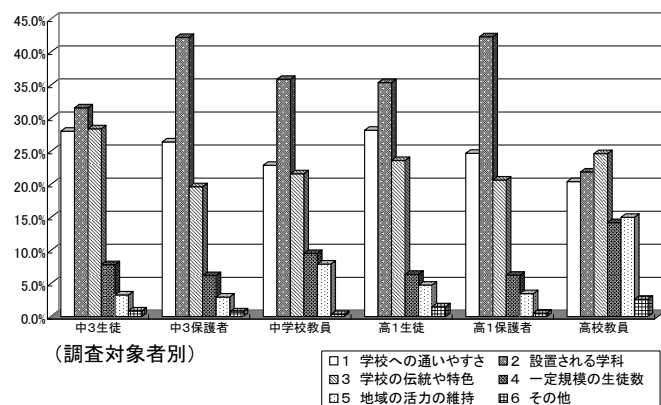
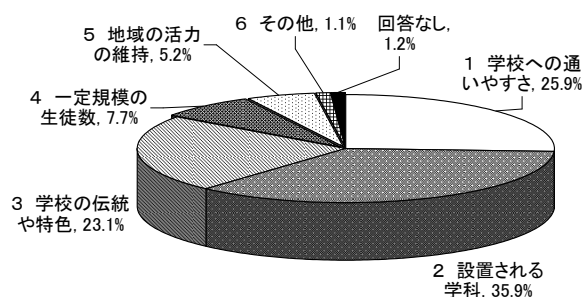
問12 平成22年3月の中学校卒業生数は約9,300人でしたが、平成32年3月には約7,400人に減少する見込みです。生徒数が少なくなり学校が小規模化すると、学習活動や課外活動も縮小し、学校全体の活力が失われてきます。学校の活力を維持するため、今後は高校の再編整備が必要となってきますが、高校を統合する場合には、何を優先的に配慮すべきだと思いますか？

(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 学校への通いやすさ      2 設置される学科      3 学校の伝統や特色  
4 一定規模の生徒数      5 地域の活力の維持      6 その他

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		中学校教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 学校への通いやすさ	300	28.0%	269	26.4%	72	22.9%	344	28.2%	293	24.7%	125	20.4%	1,403	25.9%
2 設置される学科	338	31.6%	430	42.2%	113	35.9%	432	35.4%	502	42.3%	134	21.9%	1,949	35.9%
3 学校の伝統や特色	304	28.4%	200	19.6%	68	21.6%	288	23.6%	245	20.6%	151	24.6%	1,256	23.1%
4 一定規模の生徒数	84	7.8%	63	6.2%	30	9.5%	78	6.4%	74	6.2%	87	14.2%	416	7.7%
5 地域の活力の維持	35	3.3%	30	2.9%	25	7.9%	58	4.8%	41	3.5%	92	15.0%	281	5.2%
6 その他	9	0.8%	7	0.7%	1	0.3%	18	1.5%	6	0.5%	16	2.6%	57	1.1%
回答なし	1	0.1%	20	2.0%	6	1.9%	3	0.2%	26	2.2%	8	1.3%	64	1.2%
計	1,071		1,019		315		1,221		1,187		613		5,426	

### 高校の再編整備(全体)



高校の再編整備にあたり、優先して配慮すべきことについて尋ねた。

- 全体の傾向
  - ・「設置される学科」と回答した比率が最も高く35.9%、「学校への通いやすさ」25.9%、「学校の伝統や特色」23.1%の順である。
- 調査対象者別
  - ・中3保護者及び高1保護者をみると、「設置される学科」と回答した比率がそれぞれ42.2%、42.3%で、他の調査対象者よりも高くなっている。
  - ・高校教員をみると、「設置される学科」と回答した比率が21.9%で他の調査対象よりも低い一方、「地域の活力の維持」が15.0%、「一定規模の生徒数」が14.2%と高くなっている。
- 学科別
  - ・「設置される学科」と回答した比率が高いのは商業科の高1保護者58.5%となっている。

		普通科	単位制普通科	専門教育学科	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制	合計
高1生徒	1 学校への通いやすさ	28.1%	23.1%	20.3%	27.9%	19.4%	29.4%	25.3%	48.5%	28.2%
	2 設置される学科	35.9%	31.6%	34.8%	45.9%	43.1%	41.2%	31.6%	16.5%	35.4%
	3 学校の伝統や特色	23.1%	31.6%	26.1%	18.9%	23.6%	17.6%	31.6%	19.6%	23.6%
高1保護者	1 学校への通いやすさ	25.2%	19.8%	15.9%	22.0%	18.7%	28.3%	25.5%	39.2%	24.7%
	2 設置される学科	40.6%	31.0%	40.6%	52.3%	46.7%	44.2%	58.5%	31.6%	42.3%
	3 学校の伝統や特色	22.0%	36.2%	21.7%	12.8%	17.3%	19.5%	8.5%	17.7%	20.6%



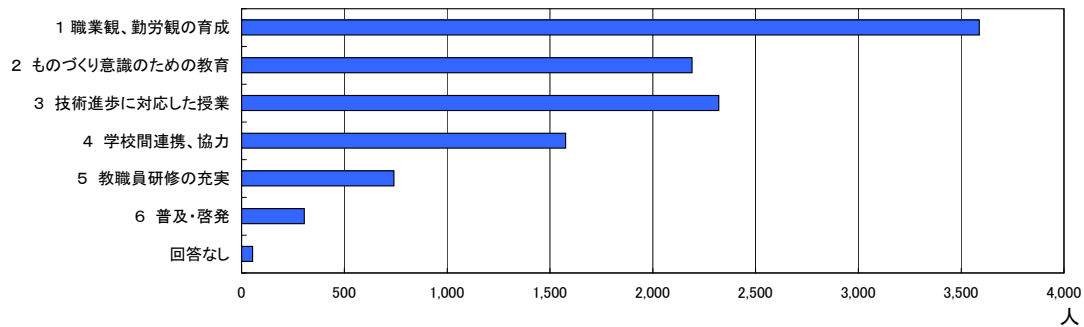
問13 これからのキャリア教育の推進のために求められる方策は、どのようなことだと思いますか？  
(つぎの中から2つ選んでください。)

- 1 全ての県立高校で就業体験を積極的に実施し、職業観や勤労観を育成する
- 2 義務教育段階から、ものづくりの意識を深めさせるための教育を提供する
- 3 民間企業や地域等から講師を招き入れ、技術の進歩に対応した授業を実施する
- 4 教職員間、生徒間の交流など小・中・高・大の学校間の連携、協力を進める
- 5 教職員を対象としたキャリア教育研修を充実させる
- 6 パンフレットの作成などキャリア教育の普及・啓発を進める

※ 複数回答あり

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		中学校教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 職業観、勤労観の育成	752	70.2%	685	67.2%	215	68.3%	851	69.7%	779	65.6%	306	49.9%	3,588	66.1%
2 ものづくり意識のための教育	458	42.8%	412	40.4%	117	37.1%	531	43.5%	443	37.3%	230	37.5%	2,191	40.4%
3 技術進歩に対応した授業	348	32.5%	476	46.7%	173	54.9%	412	33.7%	567	47.8%	345	56.3%	2,321	42.8%
4 学校間連携、協力	339	31.7%	236	23.2%	78	24.8%	372	30.5%	319	26.9%	232	37.8%	1,576	29.0%
5 教職員研修の充実	142	13.3%	157	15.4%	36	11.4%	149	12.2%	180	15.2%	77	12.6%	741	13.7%
6 普及・啓発	96	9.0%	26	2.6%	5	1.6%	116	9.5%	41	3.5%	21	3.4%	305	5.6%
回答なし	2	0.2%	20	2.0%	2	0.6%	5	0.4%	21	1.8%	4	0.7%	54	1.0%
計	1,071		1,019		315		1,221		1,187		613		5,426	

### キャリア教育の推進



キャリア教育推進のために求められる方策について尋ねた。

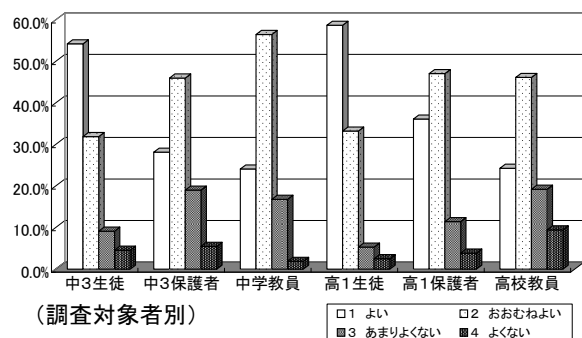
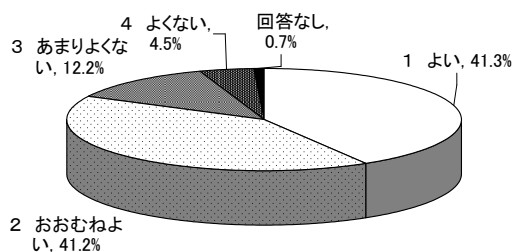
- 全体の傾向
  - ・「職業観、勤労観の育成」と回答した比率が最も多く66.1%、以下「技術進歩に対応した授業」42.8%、「ものづくり意識のための教育」40.4%の順である。
- 調査対象者別
  - ・高校教員についてみると、「技術進歩に対応した授業」と回答した比率が56.3%と選択肢中最も高くなっている。

問14 県立高校の入試は、県内どこからでも志願できる全県一学区制となっていますが、この制度についてどう思いますか？  
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 よい                      2 おおむねよい                      3 あまりよくない                      4 よくない

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		中学校教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 よい	581	54.2%	287	28.2%	76	24.1%	717	58.7%	429	36.1%	149	24.3%	2,239	41.3%
2 おおむねよい	342	31.9%	469	46.0%	178	56.5%	406	33.3%	559	47.1%	283	46.2%	2,237	41.2%
3 あまりよくない	98	9.2%	194	19.0%	53	16.8%	65	5.3%	136	11.5%	118	19.2%	664	12.2%
4 よくない	49	4.6%	56	5.5%	6	1.9%	31	2.5%	46	3.9%	58	9.5%	246	4.5%
回答なし	1	0.1%	13	1.3%	2	0.6%	2	0.2%	17	1.4%	5	0.8%	40	0.7%
計	1,071		1,019		315		1,221		1,187		613		5,426	

全県一学区制(全体)



入学者選抜の全県一学区制度について尋ねた。

○ 全体の傾向

- ・「よい」、「おおむねよい」と回答した比率が82.5%で、「あまりよくない」、「よくない」は16.8%となっている。
- ・昨年度との比較は次のとおり。

	H21年度	H22年度
1 よい	79.1%	82.5%
2 おおむねよい		
3 あまりよくない	20.1%	16.8%
4 よくない		

○ 調査対象者別

調査対象者ごとの「よい」、「おおむねよい」と回答した比率は次のとおり。

中3生徒	中3保護者	中学校教員	高1生徒	高1保護者	高校教員	計
86.2%	74.2%	80.6%	92.0%	83.2%	70.5%	82.5%

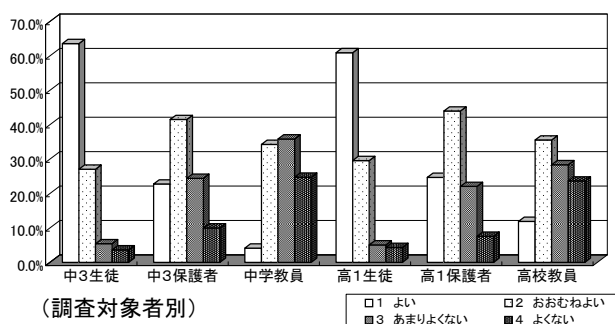
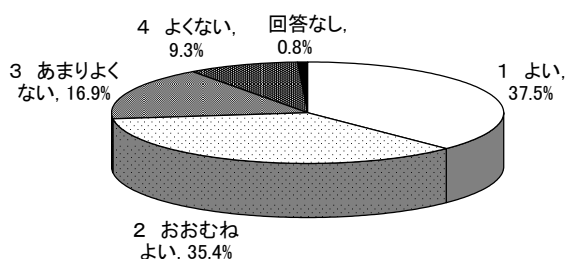
問15 県立高校の入試は、全日制課程で前期募集を実施していますが、この制度についてどう思いますか？

(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 よい                      2 おおむねよい                      3 あまりよくない                      4 よくない

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		中学校教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 よい	681	63.6%	232	22.8%	13	4.1%	744	60.9%	293	24.7%	73	11.9%	2,036	37.5%
2 おおむねよい	290	27.1%	423	41.5%	108	34.3%	361	29.6%	522	44.0%	218	35.6%	1,922	35.4%
3 あまりよくない	58	5.4%	249	24.4%	113	35.9%	62	5.1%	262	22.1%	174	28.4%	918	16.9%
4 よくない	39	3.6%	102	10.0%	78	24.8%	53	4.3%	90	7.6%	145	23.7%	507	9.3%
回答なし	3	0.3%	13	1.3%	3	1.0%	1	0.1%	20	1.7%	3	0.5%	43	0.8%
計	1,071		1,019		315		1,221		1,187		613		5,426	

前期募集制度(全体)



入学者選抜の前期募集制度について尋ねた。

○ 全体の傾向

・「よい」、「おおむねよい」と回答した比率が72.9%で、「あまりよくない」、「よくない」は26.3%となっている。

・昨年度との比較は次のとおり。

	H21年度	H22年度
1 よい		
2 おおむねよい	74.3%	72.9%
3 あまりよくない		
4 よくない	24.9%	26.3%

○ 調査対象者別

調査対象者ごとの「よい」、「おおむねよい」と回答した比率は次のとおり。

中3生徒	中3保護者	中学校教員	高1生徒	高1保護者	高校教員	計
90.7%	64.3%	38.4%	90.5%	68.7%	47.5%	72.9%

・生徒は中3、高1ともに90%以上だが、教員は中学校38.4%、高校47.5%となっており、調査対象者間で比率の差が大きい。

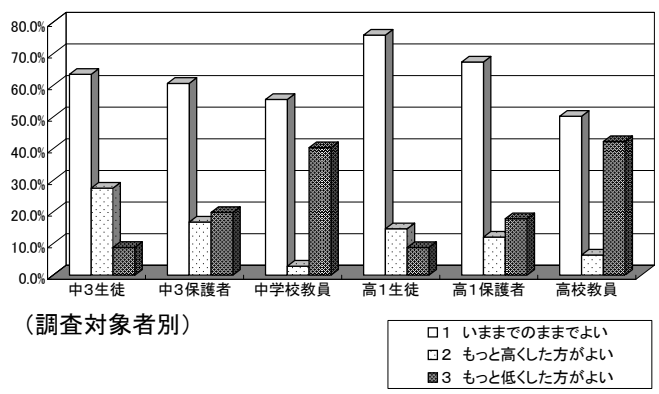
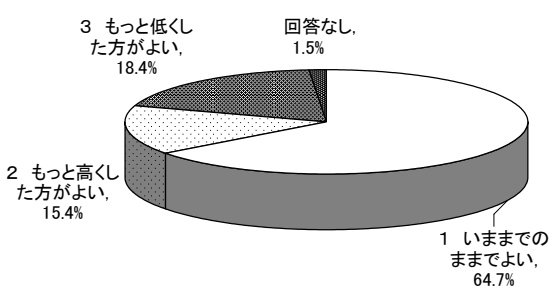
問16 前期募集の募集率は学科ごとに範囲が決まっていますが、前期募集の募集率についてどう思いますか？

(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 いままでそのままよい                      2 もっと高くした方がよい                      3 もっと低くした方がよい

選 択 肢	中3生徒		中3保護者		中学校教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 いままでそのままよい	680	63.5%	618	60.6%	175	55.6%	927	75.9%	800	67.4%	308	50.2%	3,508	64.7%
2 もっと高くした方がよい	295	27.5%	171	16.8%	9	2.9%	179	14.7%	143	12.0%	39	6.4%	836	15.4%
3 もっと低くした方がよい	94	8.8%	202	19.8%	127	40.3%	107	8.8%	212	17.9%	259	42.3%	1,001	18.4%
回答なし	2	0.2%	28	2.7%	4	1.3%	8	0.7%	32	2.7%	7	1.1%	81	1.5%
計	1,071		1,019		315		1,221		1,187		613		5,426	

前期募集の募集率(全体)



前期募集の募集率について尋ねた。

- 全体の傾向
  - ・「いままでそのままよい」との回答が64.7%と最も高く、以下「もっと低くした方がよい」18.4%、「もっと高くした方がよい」15.4%の順である。
- 調査対象者別
  - ・「もっと高くした方がよい」と回答した比率は中3生徒、中3保護者でそれぞれ27.5%、16.8%と他の調査対象者と比べ高くなっている。
  - ・「もっと低くした方がよい」と回答した比率は中学校教員、高校教員でそれぞれ40.3%、42.3%と他の調査対象者と比べ高くなっている。
- 学科別
  - ・「もっと高くした方がよい」と回答した比率を学科ごとにみると、次のとおりである。

	普通科	単位制普通科	専門教育学科	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制	計
高1生徒	14.4%	11.1%	4.3%	10.8%	9.7%	21.8%	16.8%	24.7%	14.7%
高1保護者	11.8%	6.0%	11.6%	15.6%	18.7%	13.3%	8.5%	13.9%	12.0%

・比率が高いのは、定時制の高1生徒24.7%、工業科の高1生徒21.8%となっている。

・「もっと低くした方がよい」と回答した比率を学科ごとにみると、次のとおりである。

	普通科	単位制普通科	専門教育学科	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制	計
高1生徒	7.4%	7.7%	18.8%	5.4%	12.5%	7.6%	8.4%	13.4%	8.8%
高1保護者	19.2%	26.7%	23.2%	11.9%	13.3%	16.8%	14.9%	8.9%	17.9%

・比率が高いのは、単位制普通科の高1保護者26.7%、専門教育学科の高1保護者23.2%となっている。

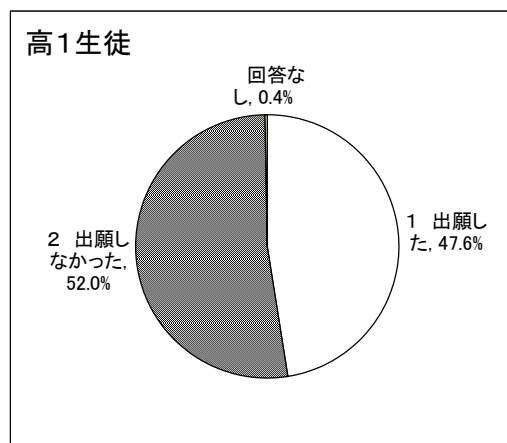
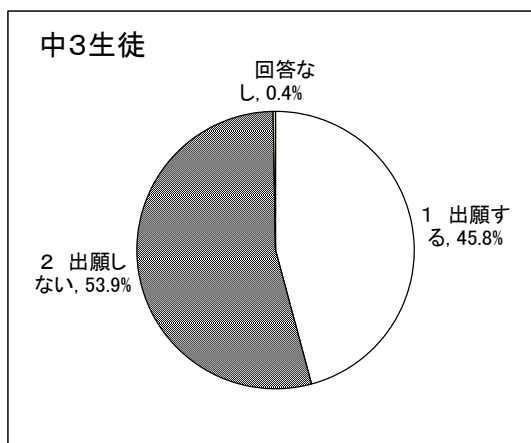
問17 中学生と高校生の皆さんにお聞きします。

- ・中学生の皆さん → 前期募集に出願しますか？
- ・高校生の皆さん → 前期募集に出願しましたか？

1 出願する(した)

2 出願しない(しなかった)

選 択 肢	中3生徒		高1生徒	
	人数	比率	人数	比率
1 出願する(した)	490	45.8%	581	47.6%
2 出願しない(しなかった)	577	53.9%	635	52.0%
回答なし	4	0.4%	5	0.4%
計	1,071		1,221	



前期募集に出願する(した)か尋ねた。

○ 全体の傾向

・前期募集に「出願する(した)」と回答した生徒は、中3生徒45.8%、高1生徒47.6%となっている。

○ 学科別(高1生徒)

「出願した」と回答した比率を学科ごとにみると、次のとおりである。

	普通科	単位制普通科	専門教育学科	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制	計
高1生徒	46.4%	46.2%	50.7%	47.7%	80.6%	51.3%	51.6%	20.6%	47.6%

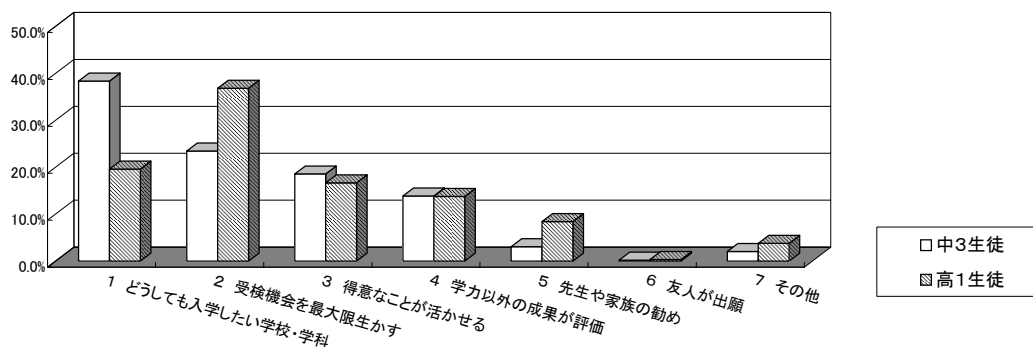
・比率が高いのは農業科80.6%、低いのは定時制20.6%となっている。

問18 問17で、前期募集に「1 出願する(した)」と回答した人にお聞きします。  
前期募集に出願する(した)理由は何ですか？(次の中から1つ選んで下さい)  
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 どうしても入学したい学校・学科(コース)だから
- 2 受検機会を最大限生かそうと思ったから
- 3 入学したい高校の「出願条件」などが当てはまり、得意なことが活かせると思ったから
- 4 学力以外の成果が評価されるから
- 5 先生や家族に勧められたから
- 6 友人が出願するから
- 7 その他

選 択 肢	中3生徒		高1生徒		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 どうしても入学したい学校・学科	188	38.4%	114	19.6%	302	28.2%
2 受検機会を最大限生かす	115	23.5%	214	36.8%	329	30.7%
3 「出願条件」が当てはまった	91	18.6%	97	16.7%	188	17.6%
4 学力以外の成果が評価	68	13.9%	80	13.8%	148	13.8%
5 先生や家族の勧め	15	3.1%	49	8.4%	64	6.0%
6 友人が出願	1	0.2%	2	0.3%	3	0.3%
7 その他	10	2.0%	22	3.8%	32	3.0%
回答なし	2	0.4%	3	0.5%	5	0.5%
計	490		581		1,071	

前期募集の出願理由



前期募集に出願する(した)理由を尋ねた。

○ 全体の傾向

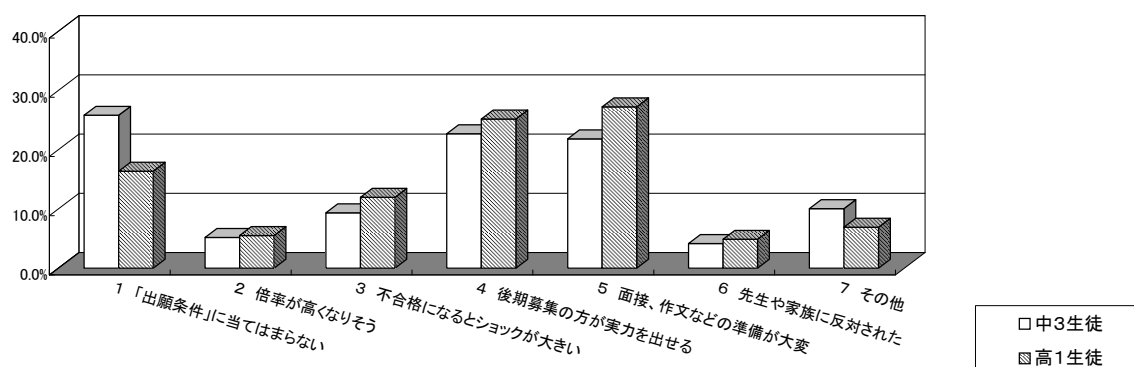
・中3生徒は「どうしても入学したい学校・学科」が38.4%で最も高く、高1生徒は「受検機会」が36.8%で最も高くなっている。

問19 問17で、前期募集に「2 出願しない(しなかった)」と回答した人にお聞きします。  
前期募集に出願しない(しなかった)理由は何ですか？

- 1 高校の「出願条件」などに当てはまらないと思ったから
- 2 倍率が高くなりそうと思ったから
- 3 不合格になるとショックが大きいと思ったから
- 4 後期募集(学力検査)の方が実力を出せると思ったから
- 5 面接、作文などの準備が大変だと思ったから
- 6 先生や家族に反対されたから
- 7 その他

選 択 肢	中3生徒		高1生徒		合 計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 「出願条件」に当てはまらない	149	25.8%	104	16.4%	253	20.9%
2 倍率が高くなりそう	30	5.2%	35	5.5%	65	5.4%
3 不合格になるとショックが大きい	54	9.4%	76	12.0%	130	10.7%
4 後期募集の方が実力を出せる	131	22.7%	160	25.2%	291	24.0%
5 面接、作文などの準備が大変	126	21.8%	173	27.2%	299	24.7%
6 先生や家族に反対された	24	4.2%	31	4.9%	55	4.5%
7 その他	58	10.1%	44	6.9%	102	8.4%
回答なし	5	0.9%	12	1.9%	17	1.4%
計	577		635		1,212	

前期募集の不出願理由



中3生徒と高1生徒に、前期募集に出願しない(しなかった)理由を尋ねた。

- 全体の傾向
  - ・中3生徒は「出願条件」にあてはまらない」が25.8%で最も高く、高1生徒は「面接、作文などの準備が大変」が27.2%で最も高くなっている。